

エミレーツ パレス Emirates Palace



広大な庭園からホテル本館エントランスに至るイースト・ウィング側アプローチ



ゆったりとした配置でゲストの要望に応えるゲストリレーションのデスク



目前に竣工した「Etihad Towers」の超高層ビルを眺めるイースト・ウィング側のスイミングプール



正装した担当のバトラー氏



筆者 小原康裕

ホテルジャーナリスト。
慶応義塾大学法学部法律学科卒。74年
Munich Re入社。85年築地原健株代表
取締役。2001年投資顧問会社原健設立、
代表取締役CEO。JHRCA、日本ホテル
レストランコンサルタント協会理事。
※現在、著者のホームページで「世界のリー
ディングホテル」を連載中。多くの美しい
写真と興味深いコメントで、世界中の
ホテルとそれら関連都市を紹介。
www.jhrca.com/worldhotel

世界にはまだまだ日本人が訪れていないホテルがある。このコーナーではホテルエが知っておくべき「世界のリーディングホテル」を紹介する。これまで多くのホテル紹介本が出版されてきたが、そのほとんどが現地のホテルと事前に取材の連絡を取り合い、プロのカメラマンや通訳、そのほか大勢を連れ立っての大名取材であり、宿泊は省略といったことも多々であった。本連載では、著者自身が長年にわたる個人旅行中に自分の目で感じ取り、コメントを書き込み、自分のカメラで思いのままを撮ってきた写真を掲載する。

※本連載は毎月2・4週号掲載



「Emirates Palace」の豪壮な本館とウェスト・ウィング部分の遠景。ホテルの関連敷地は100万㎡に及ぶ壮大なもので、東西両翼に伸びた建物の長さは1km以上もある。背後には美しいプライベートビーチが広がる



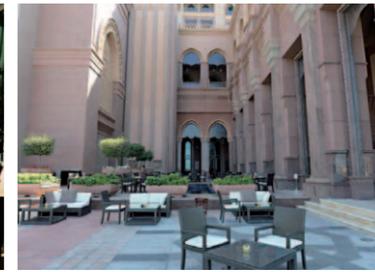
ゴールドやクリスタルの装飾で彩られた壮麗なメインドーム



客室棟の両翼に配置された眩いほどの吹き抜けの回廊



オールデイダイニング「Le Vendome」の海が望めるテラス席



イタリアンダイニング「Mezzaluna」の気持ち良いオープンエアのテラス席



ウェスト・ウィング側にあり、アラビアンムードが漂うスパ「Anantara Spa」



広大な面積を誇り、2500名収容のボールルーム「Etihad Ballroom」



イースト・ウィング側「Coral Room」のベッドルーム。約55㎡の十分な広さがあり、バトラーサービスも完備である。広いテラスから芝生ガーデンの向こうに「Etihad Towers」が正面に望める



バスルームは広い面積を確保しており、明るく使い勝手も良好だ



玄関ホワイエから俯瞰した高い天井のベッドルーム

UAE、アラブ首長国連邦の首都はドバイではなくアブダビにある。この事がアブダビをして、先行したドバイに追い付くべく奮い立たせて来た訳である。アブダビとドバイの2都市は互いにコンペティターとして、様々な分野でライバル関係にある。最も注目されているのが、ドバイをハブ空港としたエミレーツ航空「Emirates Airline」と、アブダビを拠点としたエティハド航空「Etihad Airways」とのし烈なシェア争いだ。同様にホテル業界に於いても似た構図が浮かび上がってくる。いわゆる7ツ星ホテルとして世界に名を馳せたドバイのブルジュ・アル・アラブに対抗すべく、UAEの首都として威信を賭けて建設したのが「アブダビの7ツ星ホテル」と呼ばれるエミレーツパレスだ。

エミレーツパレスは30億ドルの巨費を投じ、ケンピンスキーから運営面での協力を得て2005年にグランドオープンした。ホテルの関連敷地は100万㎡に及ぶ壮大なもので、東西両翼に伸びた建物の長さは1km以上もある。宮殿にも匹敵するホテル館内には114個のドームがあり、建物中央のドームは高さ72.6mの巨大なものだ。さらに使用されているシャンデリアの数は1002個に達し、最大のものは重量が2.5トンになるという。また、スイートを含む394のゲストルームに60か国から1200人の従業員を雇用している。まさに巨大なパレスそのもので、事実このホテルには迎賓館としての役割も備えており、国賓や王族しか利用できない豪華な専用門が左手に威容を誇っている。

検問所に準じたゲートを通してからホテル正面エントランスまで、車でかなりの時間を要する。館内は各首長の肖像画が飾られた小ホールを経て広大なグランドホールに導かれる。右手にレセプションとコンシェルジュデスクが配置され、民族衣装の制服に身を包んだゲストリレーションのスタッフが客室まで案内してくれる。筆者がアサインされた部屋は「Coral Room」の名称で約55㎡の広さがあり、芝生の向こうに竣工した「Jemeirah Etihad Towers」を望む客室だ。直ぐに担当バトラーが挨拶に来て、必要なリクエストに対応してもらえる。ホテル内には14のレストラン、バーがあり、インターナショナル料理の「Le Vendome」、イタリアンの「Mezzaluna」そして地元アラブ料理の「Mezlai」がお勧めだ。建物の中心部には広大な空間が広がり、見上げるとゴールドやクリスタルの装飾で彩られた壮麗なメインドームに圧倒される。建物両翼には個別にスイミングプールが配置され、西翼側にアラビアンムードが漂うスパ「Anantara Spa」がゲストを迎える。さらにプールの先には、1.3kmに及ぶ美しいプライベートビーチがペルシャ湾に広がっている。

アブダビ中心部はドバイと同様に超高層ビルの建築ラッシュが続ぎ、高級ホテルチェーンも続々とオープンしている。しかし、ドバイとの違いもアピールしており、2009年よりF1グランプリの開催や、世界最大級のモスク「Sheikh Zayed Grand Mosque」の参観で世界中から多くの観光客を集めている。今後もこの2都市の動向には目が離せないようだ。